

心血管撮影装置について

カテーテルという細い管を血管内に挿入し、カテーテルから造影剤というお薬を血管内に流して、血液の流れを見ることを主な目的とする検査です。



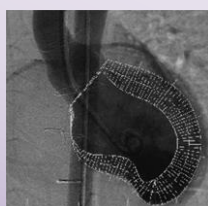
心臓カテーテル検査

心臓や肺に出入りする血液の流れを見ていますが、それ以外にも心機能の評価や、流れの悪くなった血管の拡張、閉塞している血管の開通、弊害のある血管の流れを遮断する治療(IVR)も行われています。

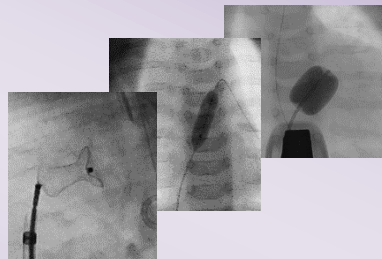
先天性心疾患の患者様を多く検査しています。



心・肺血管の造影



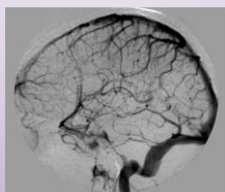
心機能評価



IVR

脳血管カテーテル検査

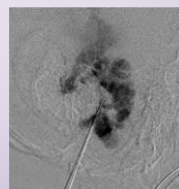
頭の中での血管の流れを見る検査です。DSAという機能を使用して、骨を消すことで、細い血管まで見ることができます。



脳血管の造影

硬化療法

硬化療法という治療で使用するお薬の範囲を確認するために使用することもあります。



造影剤で拡がり確認

外科用イメージ（移動型透視装置）について

手術中に患者さんの体内の骨、臓器の位置確認、更には造影剤を用いて血管の画像をリアルタイムに動画として観察する装置です。装置は移動式になっており、手術室のどこでも使うことができます。

